



▼ 8月24日

国体に向け宿泊衛生専門委員会を開催



えがお
愛顔つなぐえひめ国体松前町実行委員会の「第1回宿泊衛生専門委員会」は、文化センターで開かれました。

会では、リハーサル大会、えひめ国体に参加する選手や観客が安心して活躍と観覧ができる医療体制を整えるため、要項と要領を定めました。今後は、清潔で快適な環境で大会が行えるよう、宿泊や環境整備の検討を行い、万全の体制を整えます。

▼ 8月18日

戦没者の冥福を祈って



町主催の「戦没者合同慰霊祭」は、文化センターで行われ、遺族や団体の代表者などが参列しました。

式辞で、白石町長は「先人が育んできた心やすらぐふるさとを引き継いでいきたい」とあいさつ。参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。

献花後、遺族を代表して八束兼福さんが「平和の尊さやありがたさを継承していきたい」と話し、戦後70年を機に未来の世代への継承を訴えました。

▼ 9月15日

自分が植えた稲を刈り取ったよ



川端哲さん＝徳丸＝の水田で、青葉幼稚園の園児が、収穫期を迎えた稲を刈り取りました。

この稲は、6月に園児たちが自ら植えたものです。毎年徳丸農業区の協力の下、田植えから刈り取りまでを行っています。

参加した石尾七碧ちゃんは「刈るのは楽しかったよ」と笑顔で話し、秋晴れの空に向かって、黄金色に輝く稲穂を掲げていました。

▼ 8月22、23日

24時間をつなぐチャリティーの輪



町体育協会主催「24時間チャリティースポーツカーニバルMASAKI」は、松前公園などで行われました。

同イベントは、日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して行われているものです。今年は松前中学校でのバレーボールが加わり、計18種目を24時間をつなぐ形で実施。約2,500人がスポーツと募金を通じ、チャリティーの輪を広げました。集まった募金15万5,965円は、同テレビへ寄附されました。